



号外

セミコンダクター事業  
構造改革  
職場報告⑫

パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社  
組織体制(センター・グループ)に関する諮問

発行所 パナソニック デバイス労働組合 長岡京支部  
発行人 南俊幸 編集人 経営政策  
長岡京支部HP <http://www.pidungk.com/> / (最新組合情報をアップしています！)

3月10日発行の「Azalea号外 職場報告⑫」にて、パナソニックセミコンダクターソリューションズ社（以下、PSCS社）におけるBU・統括部レベルの組織諮問について報告をしました。今回は、新たにPSCS社のセンター・グループレベルの組織体制について、3月24日に諮問がされましたので、その内容について報告します。職場でのご理解をお願いします。

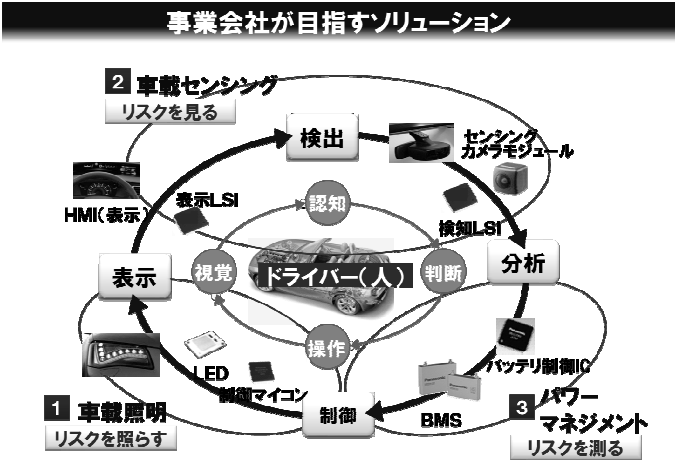
●趣旨及び内容

新会社の組織体制については、現在のセミコンダクター事業部、PIDDS C社、PIDOSC社の機能を統合・再編し、「半導体、車載モジュール、電子部材を柱とする責任と権限を明確にした事業体制と、スタッフ等の機能集約による効率的な運営体制」を基本に、新会社設立の趣旨をふまえた、事業計画を必達するための最適組織体制を構築いたします。

- 具体的には、
- ①「営業統括部」を設置し、国内・海外の営業・マーケティング機能を担当する。
  - ②「半導体ビジネスユニット」を設置し、現在、セミコンダクター事業部、PIDDS C社、PIDOSC社傘下の、半導体事業を担当する。
  - ③「車載モジュールビジネスユニット」を設置し、現在、セミコンダクター事業部車載モジュールディビジョン傘下の、車載モジュール事業を中心に担当する。
  - ④「電子部材ビジネスユニット」を設置し、現在、PIDDS C社傘下の部品事業を中心に担当する。

●背景

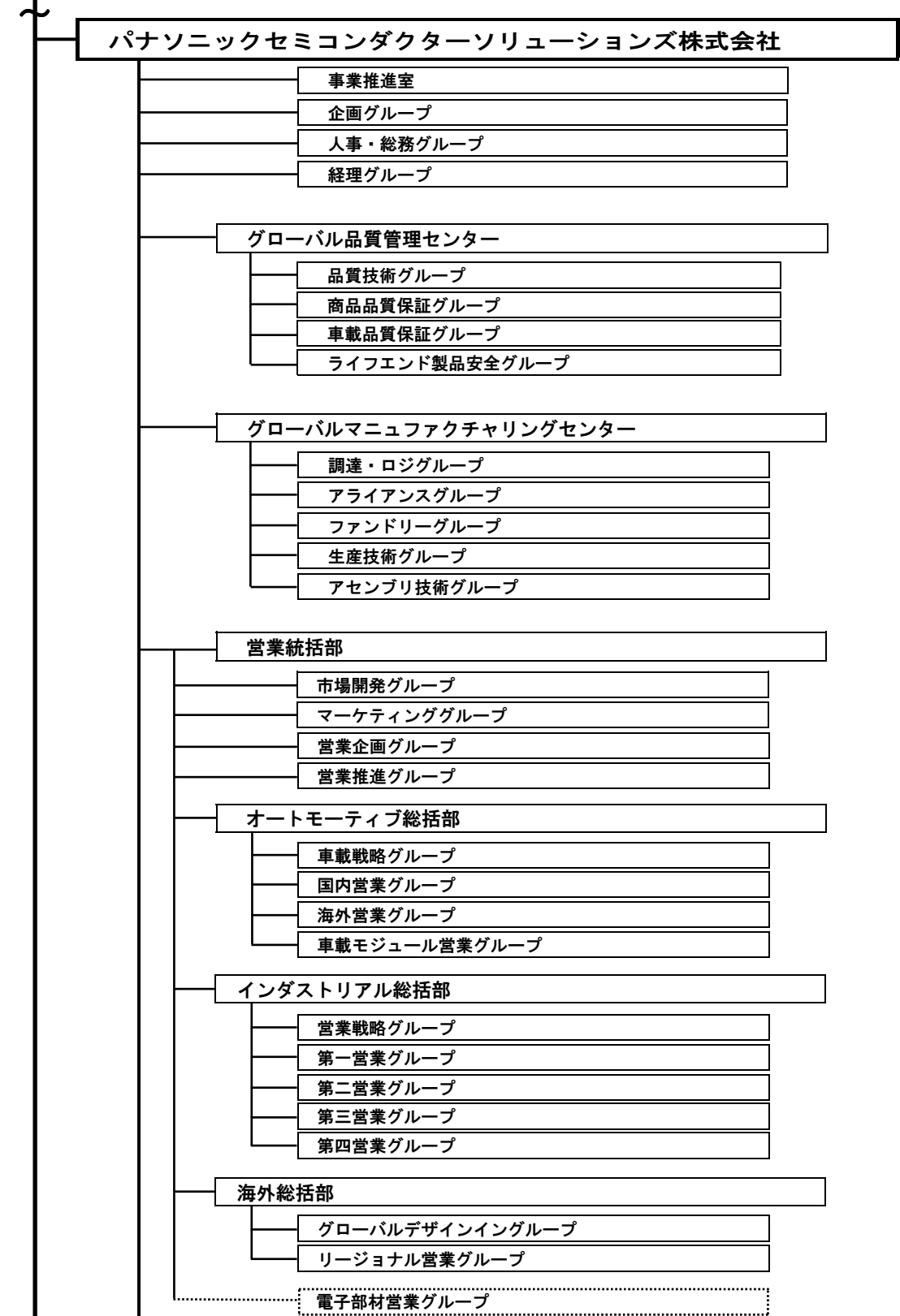
本組織体制は、今回の事業構造改革によって「対内・AVで培ったハイエンド微細化／小型・低消費技術とアナログIC・化合物半導体で培った回路／プロセス技術を融合し、新たな競争優位の技術軸を創出できる」という当社の強みを活かし、特にセンシング・オプト・パワマネの3つの事業で車載転地を加速し、この3事業に通信を加えた4事業に経営原資を集中して、強みのある6ソリューション（車載カメラ、車載HMI、車載照明、BMS、パワー制御、スマートカード）で事業拡大を図るものであります。



新組織体制

2014年6月1日

オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社



PSCS特命事項対応・情報システム・環境・施設技術・保守  
経営企画計画・経営数字管理・ビジネスパートナー戦略・リスク管理・法務・知財  
人事管理・人材育成施策・人員管理・人事制度運営・出向者管理  
経営数字管理・収支管理・経理施策・監査

品質管理統括企画行政  
新製品信頼性評価認定推進  
商品品質保証行政  
車載商品信頼性評価認定推進  
製品安全行政・安全確保取組推進

PSCS全体製造戦略責任、製造ガバナンス  
購買管理、設備調達、ロジスティック改革・運営、各BU国内/海外関係会社支援  
製造アライアンス施策立案、運営、交渉  
ファンドリービジネス推進、JV社協業調整  
生産技術、製造力強化、自社/協力会社(ASEAN)サポート  
パッケージ・モジュール開発、量産導入、UTAC技術支援

PSCS全体販売管理・販売施策・マーケティング  
技術マーケティング、トレンドセット、新規市場  
業界・顧客・地域・商品戦略立案、FAE  
営業企画、販売管理、CSR、マスター管理(DMI・Smart)、SPG  
商務機能、顧客承認、ROM管理

オートモーティブ販売総括  
車載分野向新商材創造、車載拡販戦略立案・RM提案  
国内 車載メーカーへの半導体販売  
海外 車載メーカーへの半導体販売  
車載メーカーへの車載カメラ、マイク販売

産業販売総括  
産業・ICT拡販戦略立案新規開拓、開発営業  
東日本地区直販メーカー(ドキュメント他)  
東日本地区直販メーカー(光ディスク、産業・医療)  
西日本地区直販メーカーへの半導体販売  
再販 代理店への半導体販売

海外販売総括、海外販社連携  
海外拡販戦略立案、プロダクトマネージャー、新規開拓・開発営業  
海外地場メーカーへの半導体販売、各地域販社対応

電子部材販売管理、販売戦略策定、マーケティング



※業務開発センターについては、社外出向者管理等、現行の機能をチームレベルの組織に再編予定。

■今後について

今回の諮問については、センター・グループレベルまでの組織体制が明らかになりました。今後、会社が現在検討中である、各チームレベルについての組織諮問があり次第、機関紙を通じて報告させていただきます。職場でのご理解をお願いします。